

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

第10章

第11章

資料編

第7章 私たちができること

7-1 野の鳥の歌が聞こえる自然と共に暮らすまちを目指して

(1) みんなで取り組む体制づくり



私たちの身近には、公園や街路樹、住宅地のみどり、校庭や事業所の緑地など、日々の暮らしの中で自然と出会える場所がたくさんあります。野鳥の声に気づいたり、季節ごとに変わる木々の姿を楽しんだりすることは、私たちの暮らしに安らぎや彩りを与えてくれます。

身近な自然や小さなみどりに親しむことは、自然の恵みを実感するきっかけとなり、物を大切に使うことや、無理のない暮らし方への行動変容につながります。

特別な取組でなくても、私たち一人ひとりが、主人公となって、日々の暮らしの中で自然を楽しみ、気づきを重ねていくことが、自然と共にくらすまちを実現し、次の世代へ引き継ぐ力になります。

●区民の取組

私たちは、鉢植えや庭木を育てたり、身近な公園で遊んだり、街路樹の木陰を歩いたりしながら、日々の暮らしの中でみどりと関わっています。

こうした日常の関わりを大切にしながら、いきものやみどりへの理解を深め、生物多様性に配慮したライフスタイルを実践することで、地域のみどりを守り育てていきます。

また、公園などで行われる活動や行事に参加し、世代を超えて人と人がつながることで、みどりを通じた地域の輪を広げ、みどりや生物多様性を次の世代へ伝えていきます。

●事業者・教育機関の取組

事業者や教育機関(学校・大学など)も、まちの一員として、日々の活動の中でみどりと関わることができます。敷地内のみどりを育て、いきものが利用できる環境として大切にしながら、事業活動や教育活動の中で、みどりや生物多様性に目を向ける工夫を重ねていくことが、身近な自然を支える力となります。

また、地域と関わりながら、みどりを活かした学びや交流の場を広げることで、自然の価値を共有し、次の世代へとつなげていきます。

●行政の取組

行政は、区民や事業者、教育機関が、日々の暮らしや活動の中でみどりや身近な自然を大切に取る取組を、無理なく続けていけるよう、体制づくりのコーディネーターとして積極的に支えています。

この計画に示された将来像などの内容や身近なみどりの情報を分かりやすく伝えるとともに、相談対応や活動のつながりづくりを行い、学びや行動につながるきっかけを整えます。

こうした支えを通じて、一人ひとりの行動が重なり合い、目黒区全体でみどりや生物多様性を大切に取る流れが広がっていくよう取り組みます。

(2) 私たちができること(一人ひとりの行動)



日々の暮らしの中で、私たち一人ひとりができる行動を積み重ねることが、いきものや身近なみどりを守り育てることにつながります。

将来像の実現に向けて、私たちが取り組める行動の例を、表 7-1 にチェックリストとしてまとめました。

表 7-1 私たちができること

STEP1 いきものやみどりについて知る、気づく
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 公園や緑道等を訪れ、身近なみどりの大切さを感じます。 <input type="checkbox"/> 花見や菖蒲湯、七夕やお月見など、季節の行事を楽しみます。 <input type="checkbox"/> 身近なみどりや水辺に目を向け、そこに様々ないきものがあることに気づきます。 <input type="checkbox"/> 新聞やウェブ、SNS などにより、身近ないきものやみどりの情報を知ります。 <input type="checkbox"/> まちに出かけ、みどりに関わる歴史、文化、農などのめぐろの原風景に気づきます。
STEP2 いきものやみどりを学ぶ
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自然保護活動が行われている公園を訪れ、いきものやみどりの保全について学びます。 <input type="checkbox"/> 駒場野公園自然観察舎や中目黒公園花とみどりの学習館等で開催される講座に参加し、積極的にいきものやみどりについて学びます。 <input type="checkbox"/> いきもの調査等に参加し、身近ないきものやみどりに触れ、自然の大切さを学びます。 <input type="checkbox"/> 外来生物について、生態系への影響や対策方法を学びます。 <input type="checkbox"/> 屋敷林や社寺林等を訪れ、みどりを通して地域の歴史・文化を学びます。 <input type="checkbox"/> 地域の農業イベント等へ参加し、都市の農について学びます。 <input type="checkbox"/> 地域の防災訓練等のイベントに参加し、災害時の公園の活用方法について確認します。
STEP3 活動する
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> いきものが訪れる、花や実がなる植物などを庭やベランダなどに植え、身近なみどりを守り、増やします。 <input type="checkbox"/> 自然通信員等に参加し、身近ないきものを観察・情報を共有します。 <input type="checkbox"/> 公園や緑道を散歩し、健康器具やスポーツ施設を使って、健康的な運動習慣を作ります。 <input type="checkbox"/> 公園で開催される講座や「トライアルボランティア」などに参加し、いきものやみどりに関わる楽しさを体験します。 <input type="checkbox"/> グリーンクラブや公園活動登録団体などのボランティア活動に参加します。 <input type="checkbox"/> 東京産や近郊でとれた野菜・果物を選び、旬の味を楽しみます。 <input type="checkbox"/> 食品ロスを出さないなど、エシカル消費^{注)}を工夫します。 <input type="checkbox"/> 学んだことを周りの人に伝え、活動の輪を広げていきます。 <input type="checkbox"/> 身近ないきものやみどりの観察・情報を共有し、発信します。

注) エシカル消費とは、人や社会、環境に配慮した消費行動のこと